



Standox[®]

2K ソフトナー ニュー

2K Plasticiser

- トップコートシステム用
万能軟質化剤
- Standox[®] 2Kフィラー類(中塗り)も使用可能
- プラスチック塗装用
- 長期間柔軟性を持続

使用上のポイント

- 全ての自動車プラスチック部品に適用
- 硬質プラスチック
トップコート、クリヤーコート、フィラー
⇒ソフトナー添加量(主剤に対し): 15%

このTDSに記載されていない製品については、2Kソフトナーニューを混合後、通常の混合比で使用してください。

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

Standex[®] 2K ソフトナー ニュー

Standex [®] VOC フィラー類	Standex [®] 2K ソフトナー ニュー の混合量=無し	Standex [®] 2K ソフトナー ニュー の混合量=15%
Standex [®] VOC システムフィラー U7540	Standex [®] HS ハードナー 混合比=4:1	Standex [®] HS ハードナー 混合比=3:1
	Standex [®] VOC ハードナー 混合比=7:1	Standex [®] VOC ハードナー 混合比=4:1
	Standex [®] MS ハードナー 混合比=3:1	Standex [®] MS ハードナー 混合比=2:1
Standex [®] イージーフィラー U7010	Standex [®] MS ハードナー 混合比=4:1	Standex [®] MS ハードナー 混合比=2:1

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

Standox[®] 2K ソフトナー ニュー

引火点:

・ 25°C / 77°F

比重:

・ 1.4 g/cm³

固形分

(シンナーを加えない場合):

- ・ 67.3 Weight %
- ・ 47.9 Volume %

器具の洗浄:

使用后、直ちに洗浄用シンナーで洗浄して下さい

注意事項:

- ・ Standox[®] 2K ソフトナー ニューは、2K ハードナーを混合する前に主剤と混合すること
- ・ Standox[®] 2K ソフトナー ニューはStandox[®] VOC ノンストッププライマーサフェーサー7580には、使使用しないで下さい
- ・ 軟質化したフィラー(中塗り)の最適な研磨特性を出すため、パネル温度60~65°C/45分の乾燥条件が必要です

2K塗料は、水分と反応する性質があるため、使用する器具・容器などの水気をあらかじめ完全に除去して下さい。イソシアネートを含む混合済み塗料は、呼吸器官などの粘膜を刺激し過敏反応を誘発する可能性があります。塗料の蒸気または噴霧を吸い込んだ場合は、炎症を起こす危険があります。イソシアネートを含む塗料を取り扱う際には、溶剤を含む塗料に関する諸取り扱い規定に注意し、特に噴霧・蒸気を吸い込まないように十分気を付けて下さい。アレルギー体質、ぜんそくのある人、呼吸器官の疾患にかかりやすい傾向のある人は、イソシアネートを含む塗料の取り扱いを避けてください

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」